

日本学術会議公開シンポジウム



自然史標本の継承

— 人類の**財産**を失わないために
今なすべきこと —

平成26年 **9月19日(金)** 13時～18時

日本学術会議 講堂 東京都港区六本木7-22-34
東京メトロ千代田線乃木坂駅5番出口

参加無料 — 事前申し込みは必要ありません。お気軽にご参加ください。

開催趣旨：東北地方の博物館等施設に保管されていた**自然史標本**が東日本大震災で被災したことを教訓に、学術会議は「**自然史標本の文化財化分科会**」を設置し、**自然史標本**の公的位置づけについて2年間に渡って論議してきた。その成果に加えて、そもそも**自然史標本**とはどのようなものなのか、その種類、研究上の位置づけ、社会的意義等々の重要性を社会に知ってもらうことを目的とする。

- | | |
|----------------|---|
| 13:00-13:10 | 開催挨拶と趣旨説明
馬渡 駿介(日本学術会議連携会員、北海道大学名誉教授) |
| 13:10-13:35 | 「自然史標本の国家的収集・管理・活用と国立科学博物館」
林 良博(日本学術会議連携会員、国立科学博物館館長) |
| 13:35-14:00 | 「生物標本と分類学」
大原 昌宏(北海道大学総合博物館教授) |
| 14:00-14:25 | 「人骨標本と人類学」
篠田 謙一(国立科学博物館人類研究部長) |
| 14:25-14:50 | 「岩石・鉱物標本と地質科学」
佐野 貴司(国立科学博物館地学研究部研究員) |
| 14:50-15:15 | 「自然史標本と生態学」
加藤 真(京都大学総合人間学部教授) |
| ————— 休憩 ————— | |
| 15:30-15:55 | 「自然史標本と博物館」
瀬能 宏(神奈川県立生命の星・地球博物館企画普及課長) |
| 15:55-16:20 | 「自然史標本と文化財」
山崎 健(国立奈良文化財研究所埋蔵文化財センター研究員) |
| 16:20-16:45 | 「自然史標本は自然史財である—植物および古生物標本を例に—」
西田 治文(日本学術会議連携会員、中央大学理工学部教授) |
| ————— 休憩 ————— | |
| 17:00-18:00 | パネルディスカッション
(司 会) 松浦 啓一
(コメンテーター) 講演者全員 |
| 18:00 | ————— 閉会 ————— |

主催：日本学術会議基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 **自然史標本の文化財化分科会**、動物科学分科会、自然史・古生物分科会 **後援：**生物科学学会連合、自然史学会連合、日本分類学会連合、科学研究費補助金基盤(B)「自然史財の総合的研究」 問い合わせ先：馬渡駿介 E-mail: shunfm@sci.hokudai.ac.jp